平成30年度研究プロジェクト研究概要報告

研究種別	■自主研究 3 公益目的事業 16
主査名	林 克彦 流通経済大学流通情報学部教授
研究テーマ	消費者向け小口貨物輸送における「ラストマイル」の多様化に
	関する研究

研究の目的:

ネット通販の急成長が続き、宅配便の取扱量は急増を続けている。労働集約性が高いラストマイル(配送)では、チーム集配方式や受取ロッカーの導入等の様々な試みが行われている。これまでネット通販事業者は、商品配送を宅配便事業者に依存してきたが、独自に配送専門事業者を組織化してラストマイルに主体的に取り組む動きが活発化している。本研究プロジェクトでは、宅配便事業者やネット通販事業者による消費者向け小口貨物輸送における輸配送ネットワーク再構築についてラストマイルでの取り組みを中心に、諸外国の事例を含めてヒアリング・実地調査等により収集、分類するとともに、研究会において生産性、効率性、環境への影響等の視点から議論する。

研究の経過(4月~9月):

- 第1回研究会(5月11日)議題:①物流業と宅配便事業の評価資料と生産性向上施策(林)、②シンガポールにおける宅配便の再配達の課題解決に向けた取り組み(須藤)、③アリババの動向(石原)第2回研究会(7月30日)議題:①沖縄国際物流ハブ視察について(佐々木)、②京東北京X事業部無人倉庫試験場(石原)、③安田物流(上海)有限公司(須藤)、④天猫超市無錫スマート倉庫(齊
- 無人倉庫試験場(石原)、③安田物流(上海)有限公司(須藤)、④天猫超市無錫スマート倉庫(齊藤)
- 第1回 WG(7月27日)議題:中国(北京、上海、広州、無錫)視察の検討 沖縄国際物流ハブ視察(8月2日)及び中国(北京、上海、広州、無錫)視察(8月26日~9月2日) 第3回研究会(10月12日)議題:①中国における宅配便のラストマイル配送の効率化施策に関する 研究-北京・上海-)、②EC 消費者意識調査「UPS Pulse of the Online Shopper」(根本)、③シンガポ

- ルにおける宅配便での再配達の取組と日本への示唆(須藤)

- 第4回研究会(12月14日)議題:①中国における EC プラットフォーマーの物流革新(林)、②シンガポールにおけるネット通販のラストマイル効率化の取組(須藤)、③オープン型宅配ボックス「ERY BOX」について(須藤)
- 第 5 回研究会(2 月 28 日)議題:①『A Review of Last Mile Logistics Innovations in an Externalities Cost Reduction Vision』(林)、②小口保冷配送サービスの国際標準化(根本)、③タイ・ミャンマー視察 予定(宮武)

研究の成果(自己評価含む):

ラストマイルの様々な取り組みについて、既存文献のサーベイを行ったうえで、日本や中国、タイ、シンガポールにおける最近の動向を研究した。オープン型受渡しロッカーの整備、分散型配送拠点の設置、軽自動車や電動バイクによる配送ネットワーク化、ICT活用等の具体的事例について分析を行った。当初目的はほぼ達成できた。

今後の課題:

中国でのネット通販事業者の実態調査では、物流センターにおける自動化・無人化、分散型配送拠点の設置、ドローン・自動配送車両の導入等を目の当たりにした。最近の技術革新が小口貨物輸送に及ぼす影響について、より注目する必要がある。